

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名 日本海沿岸東北自動車道 <small>おおだてきた こさか</small> 大館北～小坂JCT	事業区分 新直轄	事業主体 国土交通省 東北地方整備局
起終点 自： <small>あきた おおだて あきひとめ</small> 秋田県大館市商人留 至： <small>あきた かつの こさか こさか</small> 秋田県鹿角郡小坂町小坂	延長 14km	
事業概要 大館北～小坂JCT間は、日本海沿岸東北自動車道の一部を形成し、物流・交通拠点および高次救急医療施設へのアクセス向上を図るとともに、緊急輸送道路の信頼性向上等に大きく寄与するものである。		
H10年度事業化 都市計画決定 — H13年度用地着手 — H16年度工事着手		
全体事業費 705億円 事業進捗率 47% 供用済延長 0km		
計画交通量 5,200台/日		
費用対効果分析結果 B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 2.3	総費用 (残事業)/ (事業全体) 342/686億円 (事業費：312/656億円) (維持管理費：30/30億円)	総便益 (残事業)/ (事業全体) 793/793億円 (走行時間短縮便益：691/691億円) (走行経費減少便益：70/70億円) (交通事故減少便益：32/32億円)
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 【残事業】 交通量変動：B/C=2.6(交通量 +10%) B/C=2.1(交通量 -10%) 事業費変動：B/C=2.1(事業費 +10%) B/C=2.5(事業費 -10%) 事業期間変動：B/C=2.2(事業期間 +20%) B/C=2.4(事業期間 -20%)		
事業の効果等 ・国道・地域ネットワークの構築（日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる） ・安全で安心できるくらしの確保（三次救急医療施設へのアクセス向上が見込まれる）他12項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 大館北～小坂JCTは、物流・交通拠点および高次救急医療施設へのアクセス向上等に重要な役割を果たすことが期待されており、大館市長をはじめとする関係4市4町1村の首長・議長・商工会長等で構成される日本海沿岸東北自動車道建設促進秋田県北部期成同盟会等より早期整備の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 事業進捗率は47%であり、現在、用地買収及び工事を推進している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 現在事業中の区間のうち、用地買収の難航案件があるため、土地収用法に基づく事業認定申請の準備を行うとともに、任意での用地買収の推進を図る。大館北～小坂JCT間の14km区間について、平成20年代中頃の全線2車線供用を目標に事業推進を図る。		
施設の構造や工法の変更等 トンネル断面の見直し（断面縮小）によるコスト縮減を図る。 橋梁上部工に耐候性鋼材を採用することによる維持管理のコスト縮減を図る。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。